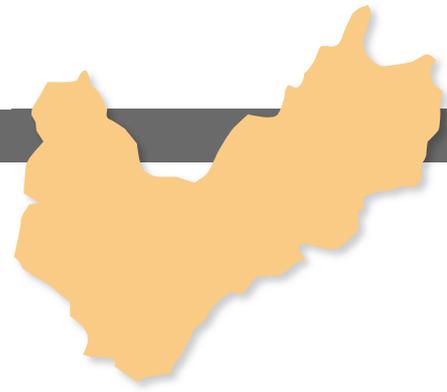




宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙



こんにちは 議会です。

no.79

平成27年5月15日号
発行/三股町議会



表紙写真:都城クリーンセンター落成式(平成27年2月28日)

TOPICS
トピックス

- 3月定例会(3月2日~3月18日) ■ 町政を問う 一般質問(8名)
- シリーズ お隣さん元気(蓼池・餅原)

平成27年新年度予算決まる

植木に西部地区体育館いよいよ着工



▲三股中学校 卒業式



3月定例会

町議会では3月議案を、3月2日から3月18日までの17日間で開催した。今回の議会上程された議案は42議案、追加議案1議案、報告2件で、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し審議した。議案の主なものは、条例の廃止及び改正22議案、27年新年度予算9議案及び26年度補正予算4議案、選挙管理委員会・補充員の推選、議員発議1件、意見書1件となっている。全ての議案を可決した。

施政方針表明

今年、これまでの成果を踏まえ、残された課題、新たな課題に積極的に挑戦し、町の将来像「自立と協働で創る元気な町 三股」の実現のために、町民の皆様との「協働の理念」に基づき、情報の共有化を図り、「見える行政」、「伝わる行政」を進め、更に元気で誇れる町づくりを目指してまい進したいと考えています。



平成27年の三股町の施政方針を議会で説明

平成27年度 予算の総額

会計名	平成27年度 予算額	平成26年度 予算額	対前年度比
一般会計	92億4,000万円	96億4,000万円	-4.10%
国民健康保険事業会計	35億円	30億8,000万円	13.60%
後期高齢者保険事業会計	2億3,000万円	2億4,000万円	-4.16%
介護保険事業会計	20億円	20億4,000万円	-1.96%
介護保険サービス事業会計	1,334万円	1,223万円	9.07%
梶山地区農業集落排水事業会計	4,840万円	4,970万円	-2.61%
宮村南部地区農業集落排水事業会計	3,825万円	3,724万円	2.71%
公共下水道事業会計	4億4,000万円	4億4,000万円	0.00%
特別会計合計	62億円	59億円	5.08%
水道事業会計	4億2,000万円	4億3,000万円	-2.32%
全会計合計	158億6,000万円	159億2,000万円	-0.37%

※数値は切り捨てあります。予算書の額と同じにはなりません。

一般会計新年度予算92億円

平成26年度の歳入歳出予算額は、対前年度比▲4.1%、4億円の減

【歳入の主なもの】

- 町税 ……18億8,000万円
- 地方交付税 ……27億3,000万円
- 国庫支出金 ……13億9,000万円
- 県支出金 ……8億8,000万円
- 町債 ……5億8,000万円

【歳出の主なもの】

- 島津紅茶園切寄線道路整備 ……1億6,000万円
- 上米公園パークゴルフ場整備 ……8,200万円
- 西部地区体育館整備事業 ……2億7,000万円
- ▼賛成多数で可決

特別会計新年度予算

- 国民健康保険特別会計 ……35億3,000万円
- 後期高齢者医療特別会計 ……2億3,800万円
- 介護保険特別会計 ……20億7,100万円
- ▼賛成多数で可決

- 梶山地区農業集落排水事業特別会計 ……4,840万円
- 宮村南部地区農業集落排水事業特別会計 ……3,825万円
- 公共下水道事業特別会計 ……4億4,000万円
- ▼全会一致で可決

条例の主なもの

- 三股町一般職の職員の臨時待命に関する条例等を廃止する条例
- 三股町課設置条例の一部を改正する条例
- 三股町課設置条例の改正に伴う関係条例の整備に関する条例
- ▼全会一致で可決

- 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 三股町介護保険条例の一部を改正する条例
- 敬老祝金の条例の一部を改正する条例
- ▼賛成多数で可決



選挙管理委員会・補充員の推選

選出については、議長による指名推選とし議会では、異議なく認めた。



選挙管理委員会委員
第4補充員
櫻木満子



選挙管理委員会委員
第3補充員
稔所信博



選挙管理委員会委員
第2補充員
野崎英明



選挙管理委員会委員
第1補充員
竹ノ内徳夫

平成26年度補正予算

一般会計 ……106億7,000万円

国民健康保険特別会計 ……32億2,000万円

後期高齢者医療特別会計 ……2億4,000円

公共下水道事業特別会計 ……3億1,000万円

▼賛成多数で可決

意見書

農業の発展に必要な生産基盤整備の拡充を求める意見書

▼全会一致で可決

発議

三股町議会委員会条例の一部を改正する条例

▼全会一致で可決



議会の新体制決まる

12人の新議員が誕生 新しい議長に福永議員



福永廣文議長

この度、議長に選任され、その重責をひしひしと感じております。町民の信託を得た議員と、町執行部の間に立ち、町民の代弁者としての議員の意見が、一つでも多く取り入れられる様頑張ります。三股町に住んでよかったと実感できる町を目指し、執行部と協力してつくってまいります。

議会運営につきましても、皆に公正に対処し、偏見のない議会をつくりたいと思います。



内村立吉副議長

4月26日三股町議会議員選挙が行われ、12人の新議員が誕生しました。

当選後、初の議会となる臨時議会が5月1日に開催され、議長、副議長及び監査委員の選挙が行われ、議会内の新体制が決まりました。

また、議会運営委員会委員及び各常任委員会委員も新たに決まりました。

議会運営委員会

議会運営に関すること、議会の諸規則に関すること、議長との問に関する事について審議または協議します。

- 委員長 指宿 秋廣
- 副委員長 池邊 美紀
- 委員 重久 邦仁
- 委員 堀内 義郎
- 委員 楠原 更三

一般会計予算・決算常任委員会

一般会計の予算及び決算に関することを審査します。

- 委員長 堀内 義郎
- 副委員長 楠原 更三
- 委員 桑畑 浩三
- 委員 山中 則夫
- 委員 池田 克子
- 委員 重久 邦仁
- 委員長 指宿 秋廣
- 副委員長 内村 立吉
- 委員 池邊 美紀
- 委員 福田 新一
- 委員 森 正太郎

広報編集常任委員会

議会広報紙の編集及び発行に関することを担います。

- 委員長 内村 立吉
- 副委員長 堀内 義郎
- 委員 重久 邦仁
- 委員 福田 新一

総務産業常任委員会

総務課、企画政策課、税務財政課、都市整備課、産業振興課、環境水道課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会及び農業委員会の所管に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項を審査します。

- 委員長 池邊 美紀
- 副委員長 福田 新一

多くの御支援に感謝し、三股町のために働くよう使命感に燃えています。国の方向性を背景に町の動きを確認し、様々な会合に参加します。自分で見て、自分で聞き、町民のためにどうするべきかを判断して行動していきます。

- 委員 桑畑 浩三
- 委員 指宿 秋廣

今回立候補を決意したのは、このままの議会ではダメだ、町民の負担に応えられる議会を作らねばと思ったのです。そして町民の生活が第一の町政を実現したい。皆さん、ともに素晴らしい三股をつくりあげて行きましょう。

- 委員 堀内 義郎

2期目の責任の重さを感じています。ご支援頂きまして、誠にありがとうございました。再度、三股町に住んで良かったと言え様に町民の目線に立ち、全身全霊をもって町政と共に活性化できるよう努力致します。



文教厚生常任委員会

福祉課、町民保健課及び教育委員会の所管に属する事項を審査します。

- 委員長 楠原 更三
- 副委員長 重久 邦仁

私のご公約として、岩下橋の上流部に自転車道・歩道設置の実現に向けて議会活動します。中学校への登校時間が、朝の通勤時間とかさなる為、事故の報告があり、歩道設置を通路安全対策の確保とすべきと考えて今後の議会活動とします。

- 委員 山中 則夫
- 委員 池田 克子

3回連続最高点で町民の負担をいただき光栄であります。その責任の重さを肝に銘じて、私の政治信条である「町政は町民の為にある。」を念頭におき、町勢発展の為、右顧左眈することなく全力で堂々と議員活動をして参ります。

- 委員 内村 立吉
- 委員 森 正太郎

日本共産党の森正太郎です。30歳の若輩ですが、本当に大勢の方のご支持を頂き、初当選させて頂きました。くらしと平和を破壊する安倍・暴走政治とブレずに対決し、「町民が主人公」の町政をめざします。

(議会選出監査委員)

ここが聞きたい



一般質問 内村 立吉議員

質問

ふるさと納税の現状は

地域政策室長

2月末で1億 3500 万円である



問 ふるさと納税の現状と今後は。

町長 平成25年より始めている。今後も寄付金の増額と共に町の特産品をPRし、充実発展させたい。

地域政策室長 ふるさとへの寄付金ということで定義はなく、税金が軽減される。申告手続きの簡素化が創設され、今後さらに寄付者が増えるものと思われる。効果的なアピールが出来るか重要になってくると考えている。2月末で1億3500万円である。

問 ふるさと納税の使途と主な特産品。

地域政策室長 福祉事業他5つの分野で使われている。特産品の発送は、肉が7割をしめている。

問 都城救急医療センターの負担額は

町長 都城救急医療センターへの運営費に対する支払金額について。

町民保健課長 定住圏構想の中で、3市1町の利用者数に応じて負担するようになってきている。平成25年度三股町の救急医療センターへの負担額は3076万円となっている。

一般質問は8人。ふるさと納税、高齢者福祉、健康づくり、防災行政無線、環境美化、通学路の安全対策、幼児や児童の虫歯対策、町の活性化など三股町が抱える様々な問題について白熱した議論が展開された。(一般質問は8人であったが、本人の都合により7人の掲載となる。)

3月議会一般質問

福永 廣文議員 11p 掲載
①町有地の道路の法面など、環境美化を

重久 邦仁議員
①通学路の安全対策を
②いじめに関する事
③農業政策、農地中間管理機構について
④組織機構の見直しをしては
⑤社会福祉法人「やまびこ会」に関する事
※本人の都合により本文には不掲載

指宿 秋廣議員 12p 掲載
①幼児や児童の虫歯対策について
②町の発注する工事及び委託契約に関する事
③大規模災害対策10市町連携と対策について
④「やまびこ会調査特別委員会」の提言を受けたその後は
⑤小学校の校区わりに関する事

池田 克子議員 13p 掲載
①市町村まち・ひと・しごと創生法に関する事

内村 立吉議員 7p 掲載
①ふるさと納税に関する事
②都城救急医療センターへの運営費と状況は
③教育の現状と小中学校の土曜授業の内容は

上西 祐子議員 8p 掲載
①高齢者福祉に関する事
②正規職員の採用計画と委託職員の雇用と配置について

池邊 美紀議員 9p 掲載
①健康づくりにステップ体操を
②JAFとの包括的協定をしては
③町民憲章の改正を
④企業誘致の取り組みは

堀内 義郎議員 10p 掲載
①防災行政無線のデジタル化に関する事
②くいまーるを広報の広告媒体としての利用は可能か
③町営テニスコートに防球ネットを

問 西諸1町にも負担するよう呼びかけていると聞く。その場合、本町の負担金が少なくなるのでは。負担金交渉の推移は。

町民保健課長 交渉にあたっては、なかなか進展していない。今後、交渉を続けていく。

問 農業に関する事

産業振興課長 行政、JFA、農協それぞれの立場で対策を協議しながら農家の相談にお応えしている。増頭に対する対策は。

問 田畑の不法投棄の対策は。

環境水道課長 罰則規定の設けられている違反行為である。本人が、特定できない場合、警察に連絡し、指導をお願いしている。

問 子ども達の安全への対策と土曜日の対応は

教育長 安全に対する緊急調査を安全に受けては。

▲ふるさと納税の町特産品

一般質問 池邊 美紀 議員



質問

町民憲章の一部を改正しては

町長

いまのところ改正は考えていない

問 三股町は扶助費率が高く、保険税の抑制が大きな問題であり、健康づくりは課題。あらゆる年代の方々でも健康づくりができ、NHKで紹介のステップ体操を導入してはどうか。

ステップ体操で健康づくりを

町長 いまのところ改正は考えていないが、指摘のこともあるので検討する。

問 町民憲章が現在広く町民に定着しているとは思えない。だからこそ小中学校で教え、先人の想いを伝え、全町民が唱和できるように、ふるさと意識を高めるべきでは。

教育長

既に50年以上引き継がれていて主な行事などで唱和され広く町民に定着している。

問 成人式で初めて唱和することになる町民憲章。若者になつてからはかなり違和感をおぼえてしまう現状がある。「青少年を健やかに育てましよう」という一部を改正すれば小中学校で教えられ、郷土愛を高めることになると思うが改善は。

町長 数多くの自治体で取り組まれている現状があり、データでは、科学的に検証した結果1人当たり45万円の間医療費の抑制につながった効果もある。いきいき元気三股21の基本理念に合致するので、積極的に導入を検討していきたい。

JAFとの包括的協定の締結を

問 交通安全や移住促進・観光や物産の情報提供をふまえてJAFと包括的協定を締結してはどうか。小中学校の安全教室や地域PRに大きく役立ち、先行事例では効果が出ている。九州では少ないが宮崎では初となる。

産業振興課長

まず観光協定を締結し包括的協定となる。大きなメリットは1日12万件のアクセスがあるJAFナビや会報でドライブコースがPRされる。またタイアップイベントや交通安全教室などの開催もある。まずは観光協定から前向きに検討していく。

要望 宮崎県初となれば注目度も大きく山之口IC開通に先駆けて締結すべき。



▲誰にでもできるステップ体操

問 企業誘致はトップの熱意といわれている。企業誘致アドバイザー制度や三股町出身の経営者を企業誘致サポーターとして活用してはどうか。

町長 これまで数件アプローチがあったが土地取得や水源確保で決定までは至らなかった。三股町に合った企業に来てもらいたい。制度改善を活かし前に進めていく。

企業誘致の取り組みは

問 働く場の確保はまちづくりの大きな課題。新年度以降の取組みはどのようなものか。

町長 土地取得補助金や企業立地奨励金など企業誘致の優遇制度の改善を図る。また、都城地区企業立地促進協議会と連携していく。

一般質問 上西 祐子 議員



質問

4月からの介護保険制度は

町長

要支援の方はサービスの一部が市町村事業に移る

問 先国会で「医療、介護総合法」の可決が強行された。この法律は、多くの高齢者を介護サービスの対象から除外するものと言われる。4月からの介護保険制度がどの様になるのか。

町長

軽い「要支援1・2」の高齢者向けサービスの一部が全国一律給付から市町村の事業に移るようになる。

27年度以降、市町村が通所・訪問型の生活支援サービスや介護予防などの事業主体となる。自治体が地域の実情に応じ基準を設けることで、地域住民ボランティアを担い手としたサービスも可能となる。

具体的計画は。具体的には要介護度の軽い要支援1・2の方や、介護認定を受けていない高齢者の方々が、共に歩いて集まれる所に居場所をつくりお茶飲み会などを開催したり、介護予防運動の指導者やレクリエーション介護士などが巡回して参加しやすく楽しいサロンなど体制構築していきたい。

どの住民ボランティアの発掘・育成に力をそそぎたい。

問 27年度は介護保険料も上がる計画だが、保険料、利用料の減免は考えていないのか。

福祉課長

今回の介護保険制度に併せて、市町村非課税世帯のうち特に低い方々を対象に、保険料基準額に対する割合を0.5から0.45とすることになっているので若干低くなる予定である。

また消費税が10%になった時は65才以上の高齢者の約3割を対象に保険料基準額に対する割合を若干引き下げる予定である。

問 認知症対策の施策は。

福祉課長

本町では平成21年度から認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職場で認知症の人や家族に対してできる範囲での手助けをする認知症サポーターの養成講座を開催している。これからも継続して取り組み、サポーターリーダーの活動の場を企画していきたい。また認知症初期集中支援チームの設置に取り組む予定。



▲よつばのクローバーによる介護支援(三股駅内ギャラリ)



一般質問 福永 廣文 議員



質問 町有地道路の法面など、環境の美化を

都市整備課長 必要性の高いところから順次管理している

問 場所によっては見通しが悪くなり交通安全や、子供達を守るという点からも整備が必要では。また、「ゴミ等の不法投棄も多く見られるので早急な対応を。

答 都市整備課長 幹線道路8路線、延長12600mにおいては、業者へ年2回草刈委託を行っている。また、地域住民との協働による保全活動として、町内3地区4500mを道路等環境整備事業で草刈に取り組んでもらっている。その他の生活道路については、道路維持の委託職員で実施している。限られた予算の中で、必要性の高いところから順次行っている。

問 町有地で道路の法面などで、竹等が生い茂り荒れている所の調査はしているのか。

答 都市整備課長 町道としましては管理道路1137路線、延長422383mのうち、農地や山林に隣接する区間等において、道路施設内の法面の長い箇所等は施設管理係で把握している。

問 その管理の内容は。

答 都市整備課長 幹線道路8路線、延長12600mにおいては、業者へ年2回草刈委託を行っている。また、地域住民との協働による保全活動として、町内3地区4500mを道路等環境整備事業で草刈に取り組んでもらっている。その他の生活道路については、道路維持の委託職員で実施している。限られた予算の中で、必要性の高いところから順次行っている。



▲竹が生い茂っている町道沿い（ガードレールが隠れている）



要望 公民館長の会議等で、整備の必要と思われる町有地の調査依頼をしてはどうか、草地の管理に比べ、竹林の管理については労力的に多大の負担を要するもので、都市整備課で予算を確保していただきたい。

都市整備課長 一般車両の通行や子供たちの安全を守るために、交差点付近や通学路等を重点に随時草刈りを実施している。

一般質問 堀内 義郎 議員



質問 防災行政無線デジタル化でどう変わる

総務課長 情報伝達の多様化と収集の拡大につながる

問 今回の整備で、デジタル化による防災の在り方がどのように変わるのか。

答 総務課長 移動通信系は無線機を消防車両や一部の公用車に30台搭載しており、緊急時や通常業務の通信を行っている。同報通信系は町内61箇所（屋外拡声子局）を設置し、スピーカーで避難情報やサイレンなどの緊急、行政サービスや自治公民館の地域情報を発信している。WiMAX網とは同報通信系を補完するシステムとして整備され、外部通信網の途絶時にも活用できるものである。費用は併せて約5億4000万円であった。

問 11月28日に行われたJアラートの訓練結果はどうであったか。テムの訓練結果はどうであったか。

答 町長 今回は47都道府県と1、732市町村が参加した。この内47市町村で、機器等の不具合で訓練情報が放送されないなどのトラブルがあったが、本町においては問題なかった。

問 車体にペインティングするのは多額の経費がかかることすれば、例えば、新規事業の「ハーフマラソン大会」などをPRするため、マグネット板を貼る方法や簡易

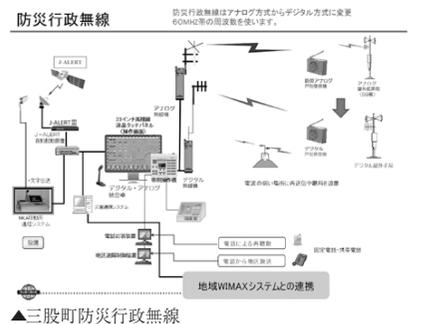
答 総務課長 まつりのポスター等は、運行当初より車内に掲示している。車体を使った広報は多額の経費を伴うので考えていない。

問 せを伝えるの広告媒体として利用できないのか。

答 総務課長 まつりのポスター等は、運行当初より車内に掲示している。車体を使った広報は多額の経費を伴うので考えていない。

問 同報系はデジタルへの更新であり大きく変わらぬが、聞き漏らした放送の電話による確認と、自治公民館などの放送を自宅により予約する事で、地域内全てに屋外拡声局のスピーカーで放送が可能となった。

答 又、WiMAX網はパソコンやスマートフォンとの接続により、非常時の警戒区域の地図や勧告などの情報を取得できるようになった。更に今回の整備で町内3箇所（雨量計）を設置し、その情報も確認できるようになった。



▲三股町防災行政無線

問 コート近隣の住民から敷地内にポールが入ってくる苦情を聞くが、防球ネットの設置はできないのか。

答 町長 三股町アグリスタウン基本構想に、コート南側の増設計画があるのでその際に整備していく予定である。

問 町営テニスコート場に防球ネットの設置を

答 町長 町内にはめ込む事ではいけないのか。一つ一つの有効な手段だと考えている。ただ今後どういった方法が事業や内容を載せられるかについては検討していきたい。

一般質問 池田 克子議員



質問

「まち・ひと・しごと創生法」の取り組みは

町長

「地方創生推進本部」を設置し対応する

問 周辺市町村と連携すること
で活性化につながるのでは
ないか。連携のあり方を問う。
地域政策室長 都城市・曾於市・志
布志市と定住自立圏構想協議会を設
置し、雇用創出等による移住定住の
促進を連携していく。また就職説明

問 「地方創生人材支援制度」が
ある。この制度は国家公務員
や大学研究者・民間人材を首長の
補佐役として派遣し、地域に応じた
「処方せんづくり」を支援するもの
である。この制度を利用する考えは
ないか。
地域政策室長 専門家の派遣となる
ため、具体的な戦略がきまった段階
でアドバイスを受けたい。

問 昨年11月に「まち・ひと・し
ごと創生法」が成立され、こ
の法に基づき総合戦略の策定が努力義
務として課せられた。当町も1月に
「地方創生推進本部」を設置してい
るが、戦略を立てるための人材の確
保はどうするのか。
町長 全職員一丸となって取り組
み、コンサルタントや国・県の相談
窓口のアドバイスを参考にしながら
総合戦略を策定する。

問 「ふるさと回帰支援セン
ター」によると移住希望者の
約7割が希望地域が決まっていない
と言っ自治体側のPRにかかってい
る。受け入れ体制の戦略を問う。
町長 空屋や資源を生かし、定住で
きる環境整備をしていく。移住を活
性化の方策として考えたい。

問 少子化をくい止めるには、今
真剣に取り組まないと未来
の展望は開けない。結婚・出産・子
育て教育の環境整備の取り組みは。
町長 子育てや教育などは一定の評
価を受けている。結婚・出産は十分
な検証を行っていないので総合戦略
や人口ビジョンを策定する中で対応

問 地方創生法が成立した一因
には、東京圏へ人口が過度に
集中していることを是正させるため
の法案でもある。地方移住について
どのように取り組んでいるのか。
地域政策室長 各種セミナー等に
参加し、情報収集をしている。

問 「まち・ひと・しごと創生法」
の主な目的は「少子高齢化の
進展に的確に対応し、人口の減少に
歯止めをかけることともに」うぬん
とある。「地方創生推進本部長」であ
る町長の強力なリーダーシップが問
われる。決意を聞く。
町長 選挙の時に5つのプロジェク
トをかけた。総合戦略の中に位置
付ける。早目の実現に頑張る。

会や就職支援セミナーなどを共同で
開催している。



▲三股町地方創生推進本部の設置

一般質問 指宿 秋廣議員



質問

フッ素洗口実施への検討は

町長

母子保健推進協議会を設置し検討する

町長 予算説明資料の中で歯科保健
推進協議会の名称を使っているが、
実際の協議会名称については、歯科
だけに特化せず、母子保健事業の効
果的な実施及び母子保健対策の在
り方等について、情報や意見を交換
する場として三股町母子保健推進協
議会を新たに設置したいと考えてい
る。

問 フッ化物での洗口は、推進す
る人や反対する人がいる。推
進する人は虫歯の予防に最適な方法
という。しかし、反対する人はフッ
化物は自然界にはない劇物で口を洗
うという大変に危険な行為であると
指摘し、間違つて飲み込んだ場合や
洗口で吐き出した水が流出した後の
農作物への影響などが危惧されてい
る。
全国的な実施人数を見ても、大分
県は、3139人、鹿児島県は84
40人、宮崎県は突出して多くの所
で実施しているが、保護者にはこ
のような危険なものであると、情報提
供しているとは考えられない。
そこで、推進ではなく実施するか
しないかを検討するべきである。

問 やまびこ会調査特別委員
会「の提言を受けてその後の対
応はどうかになっているか。
やまびこ会調査特別委員会
からの10の提言(①理事の定
数②評議員会の設置③確約書の締結
④やまびこ会の土地の寄付⑤職員か
らの提言・提案⑥清流園との契約⑦
町内保育園間の連携強化⑧県の指導
監査の報告⑨事務の検討⑩福祉設
サービスの向上)の進捗状況はど
うなっているか。

福祉課長 やまびこ会では、前理事
長が事務局長として担当された時の
さまざまな事務処理の後始末や前理事
長への費用請求、評議員会設置に伴
う定款・規程の改正、また昨年9月
に実施した入札で不落となった「わ
かば保育園の再入札」を行う上での
設計変更などの協議に追われてお
り、一部協議をしているが、これか
らの部分もある。
今後、役場での協議ややまびこ会
の評議員会・理事会での協議を行い、
平成28年3月議会までには報告す
る。



▲完成して新しいひまわり保育園



第十四回

追跡レポート



空き店舗の活用

町内店舗の閉店により空き店舗が増えてきている。町の活性化に、空き店舗の活用の対策は。

平成 25 年 3 月定例議会 一般質問

町長答弁

商工会と連携しながら、出店希望者への紹介等も考えられ、様々な活用方法を模索していく。

こうなりました

平成 27 年度空き店舗対策事業補助金を創設。店舗改装費の補助、家賃の補助。



▲補助金で活力ある町づくりを

税金の滞納問題

税金の滞納問題について、収納対策本部が設置されているが、効果があるか。

平成 25 年 3 月定例議会 一般質問

町長答弁

収納対策本部において、更なる滞納債権の解消方を検討し、適正な債権管理と、債権回収に努め、滞納額の圧縮を図る。

こうなりました

【三股町公売会 開催】町税等の滞納者から差押さえた物品を町役場ロビーに陳列し入札方式で公売を行っている。



平成 27 年 3 月議会は、4 年の任期における最後の定例議会となりました。

議会事務局からのお知らせ
6 月議会は、6 月 8 日からの予定
町民の方の多くの議会傍聴をお待ちしています。

視察研修報告

子ども子育て支援の先進地を視察

平成 27 年 2 月 3 日から 4 日の 2 日間、総務厚生常委員 5 名で大分県に視察。

【杵築市】
杵築市は現在子ども園を認定している。この取り組みは、平成 17 年から計画している事業で平成 26 年にはすべてが完全に実施されている。

その中でも山香こども園は、保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、小学校と横ならびになっており、子どもたちも安心して学ぶことが出来て、また人間関係の強いきずなが出来るのではないかと考えます。子ども園の制度の取り組みは、この杵築市は全国でも一番早い取り組みをされている。

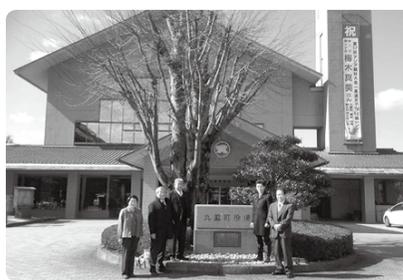
【九重町】
九重町は観光が中心で、日本一が二つある町である。その一つ目が地熱発電、もう一つが九重夢の吊り橋である。大分県の一村一品運動を取り入れて、九

佐澤 靖彦 議員

重町は一村六品とはば広く取り組んでおります。

また、四季を色分けして、春は黒（野焼き）、夏は青（新緑、山林）、秋は赤（紅葉）、冬は白（雪）一年間を通して観光ができる要素を持ち、大変うらやましく感じさせられました。

また、①日本一の田舎づくりプロジェクト
②定住一万人プロジェクト等の重点計画を職員全員、町民とともに積極的に取り組んでいる町は発展すると感じました。



▲九重町役場庁舎前

「広域行政セミナー」に参加

今回の研修は、2 月 9 日〜 10 日、福岡県と熊本県へ。委員 4 名と事務局長で参りました。

福岡では、広域行政セミナー「九州の自立を考える会」に参加し、麻生財務大臣の弟である九州経済連合会会長の麻生泰氏の「九州から日本を動かす」の講演を研修致しました。参加者を見てみますと福岡県下の議員がほとんどで、本町としてどう取り組むか考えさせられました。

翌 10 日は、熊本県のあさぎり町を訪問し、本研修のメインである「議会中継システムについて」を研修しました。あさぎり町は平成 15 年に五町村が合併した人口 16000 人の町で、熊本県の南部に位置し、えびの市と小林市に接しています。

住民に対して開かれた議会を実現するために、議会中継システムを平成 22 年度に導入を決定。平成 23 年 6 月定例会から、本会議について中継録画の映像配信

福永 廣文 議員

を開始しました。導入経費は、80 万円の委託費で対応し、本会議のみ中継。録画放送については録画ライブラーを作成し、ホームページ上の議会パナーから閲覧できるようにしているとのことでした。インターネット配信事業アクセスログの集計は、平成 24 年 10 月から平成 26 年 12 月分までで平均 870 回平均です。本町も前向きな導入を検討すべきであると思いました。



▲熊本県あさぎり町での研修

お隣さん、元気

つながりを知る

蓼池 自治公民館



柳田 晃 館長



蓼池自治公民館は…

楽しい春祭り▲

「住みよい地球環境を次世代に」蓼池地区では、生活環境の美化に努力し、ごみの削減化・資源化を推進しています。力を合わせ住み良い地域づくりをしていきたいと思います。



早馬神社へ奉納し蓼池祈念を開催。▲

餅原 自治公民館



小林 正美 館長



餅原自治公民館は…

早馬神社での力強い踊りの奉納▲

緑と自然に囲まれたとても静かな、みんなが仲良くまとまりのある地域です。みんなで住み良い地域づくりをしていきたいと思います。



新規加入者をあたたかく受け入れ▲

自治公民館を中心に、子ども会、壮年会等、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよい街にしましょう。

自治公民館加入案内
三股町・三股町自治公民館連絡協議会
電話 52-1111 内線 1801



議会広報編集常任委員会

発行責任者

議長 山中 則夫

委員長

堀内 義郎

副委員長

池田 克子

委員 福永 廣文

委員 佐澤 靖彦



編集後記

今年も別れと出会いの頃を見計らうかの如く、上米公園の桜は開花し、人目を楽ませてくれました。

更に、桜に併せるかのようにクスノキも古い葉を落とし、新しい葉へと新旧の入れ替えをします。町政においても年度替わりし、職員が入れ替わりましたが、議会においても4年に1度の選挙の年であり、町民の皆さんの審判を受け、入れ替えとなります。

風薫る5月には、里山は新緑一色となり山の機能を発揮します。議会も新緑ならぬ新体制としての新力となり、町政発展に繋がるよう二元代表制として機能をより発揮するよう努力したいと思います。